

たいむとらべるとうやこ



Time Travel Toyako



vol.5 東日本大震災発生から今年で10年 教訓忘れず防災強化へ

～洞爺湖町の歴史を振り返ります～



避難した住民のため食料を運ぶ職員



防災力強化のため行われた訓練

東日本大震災

2011年3月11日、宮城県沖で発生。マグニチュード9.0を記録し、日本周辺で発生した地震としては観測史上最大。特に津波による被害が甚大で死傷者、行方不明者は合わせて2万4千人を超える大災害となりました。

道南で死者が出るなど、太平洋沿岸を中心に北海道も被害を受けました。

2011年3月11日午後2時46分、宮城県をはじめとした東北全域、関東などが激しい揺れに襲われました。宮城、岩手、福島県の沿岸地域は巨大津波にのみ込まれ、1万5千人以上が犠牲となりました。

洞爺湖町でも震度3を観測し、大津波警報が発令。あぶた体育館をはじめ7か所に避難所を開設し、住民約700人が身を寄せました。職員は非常食などを運び込み、避難体制の準備に奔走しました。

3月18日には、洞爺湖町東北地方太平洋沖地震支援本部を設置。被災地に義援金を送るとともに復興支援のため職員を派遣しました。また、西胆振3市3町で防災協定を結び、災害発生に備えた連携強化を進めています。

震災でわかった災害対策の課題は、訓練や防災体制の見直しで次第に克服されつつあります。噴火のリスクを抱えたまちとして、震災の教訓を忘れず今後も安心・安全なまちづくりを進めていきます。

東奔西走

日 中の風も涼しく過ごしやすくなり、秋が近づいてきたように感じます。子どものころ、この時期になるとトンボやバッタを探して、畑の中を走り回っていたのがとても懐かし思います。(M.O)

洞 爺駅のエレベーターが完成。旅先で大きな荷物を抱えているのに階段を登らなければならない時の負担は地味なようで重いものです。気持ちよく洞爺湖町を観光してもらえるようフル稼働に期待です。(D.Y)

今月のワンショット



洞爺湖ビジターセンターで行われたクラフト教室